

その日 オレンジの空に

心地よい夜風が窓から私のほほを撫でた。
見上げた空に、優しいオレンジ色の星が瞬く。
ちら、ちら。

明日来てくれる？

やわらかな風の午後、眠りゆくその人のもとへ向かう。
すうっと刷毛で描いた白雲が、空と自由に混じりあう。
その穏やかな水色が、緑色にそよぐ田に混じってゆく。

ほとんど、眠っていた。
けれど、聴こえた。

会いたかったよ。

お別れパーティーしよう。
すぐ生まれ変わってくるからね、名前も決めたよ。
私は体をずいぶん使い古しちゃったから。
またね。ありがとうね。

いつもあなたのことばは、ありがとうであふれていた。
あなたの笑い、そしてありがとうが、みんなをあたたためてくれた。
大切な旅立ちに会えたこと、心からありがとう。

旅立ちの西の空。

この夏最高の、深く愛しいオレンジ色のスクリーンが
私の心いっぱいひろがった。